

# 生物化学的測定研究会 第21回学術シンポジウムプログラム

## 「生物化学的測定の革新を目指した産総研のアプローチ」

生物化学的測定法は、生物学、生化学、分子生物学、化学、光工学、デバイス工学などさまざまな技術によって支えられており、それぞれの研究分野における技術革新が相互作用することによって、新たな展開が広がると期待されています。

国立研究開発法人産業技術総合研究所（産総研）はおよそ 2,300 名の研究者をかかえ、生命工学、材料、化学、計測技術等幅広い研究分野を所掌する日本最大級の国立研究所です。本シンポジウムでは、生物化学的測定の展開に寄与すると期待される産総研の研究者を産総研関西センターに集め、さまざまな研究アプローチをご紹介します。

ご関心ある方は、早めに事務局まで参加申込みいただきますようお願いします。

■期日：2016年（平成28年）11月11日（金） 13:00～17:00（受付 12:30～）

■会場：国立研究開発法人産業技術総合研究所関西センター産学官連携研究棟第11会議室  
（大阪府池田市緑丘1-8-31、アクセスは会場案内参照）

※来場には入構手続きが必要となりますが、事前に参加申込みいただければ来場時の所属・名前などの記入が不要となります。

■オーガナイザー：扇谷 悟（産総研生物プロセス研究部門副研究部門長）

### ■プログラム

13:00-13:05 開会の挨拶

扇谷 悟（産総研生物プロセス研究部門 副研究部門長、オーガナイザー）

13:05-13:35 講演1「ラクダ科動物由来 VHH 抗体の開発」

赤澤 陽子（バイオメディカル研究部門 次世代メディカルデバイス研究グループ 研究員）

13:35-14:05 講演2「ウミホタル発光系を用いた標識酵素法の開発」

呉 純（バイオメディカル研究部門 細胞マイクロシステム研究グループ 主任研究員）

14:05-14:35 講演3「家畜生産現場で用いるための電気化学イムノセンサ」

岩崎 渉（製造技術研究部門 生物化学プロセス研究グループ 研究員）

14:35-15:05 講演4「水晶振動子を用いた免疫センサの開発」

愛澤 秀信（環境管理研究部門 環境微生物研究グループ 主任研究員）

15:05-15:15 休憩

- 15:15-15:45 講演5「免疫センサのセンシング界面構築」  
田中 睦生 (健康工学研究部門 界面・材料研究グループ 研究グループ長)
- 15:45-16:15 講演6「V溝バイオセンサーによる免疫アッセイ」  
藤巻 真 (電子光技術研究部門 光センシンググループ 研究グループ長)
- 16:15-16:45 講演7「表面科学を利用した免疫測定法の開発とそのマイクロデバイス化」  
栗田 僚二 (バイオメディカル研究部門 ナノバイオデバイス研究グループ 研究グループ長)
- 16:45-16:55 総合討論
- 16:55-17:00 閉会の挨拶 小林典裕 (神戸薬科大学教授、研究会会長)
- 17:30-19:30 情報交換会

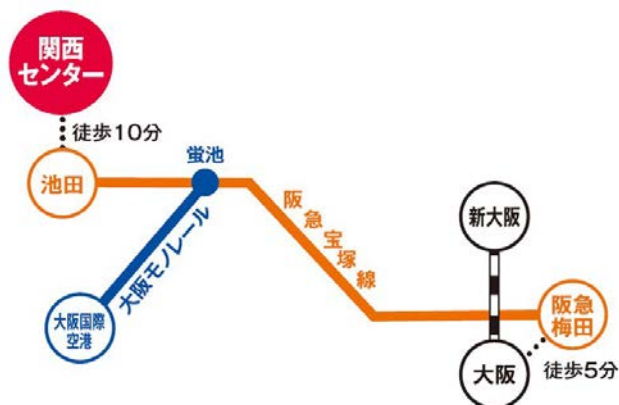
- 参加費：会員；3,000円 (要旨集込み)、非会員；5,000円 (要旨集込み)、  
学生；無料 (要旨集 2,000円)  
情報交換会；5,000円 (参加者のみ)

■会場案内：

【住所】 〒563-8577 大阪府池田市緑丘1-8-31

【アクセス】 阪急宝塚線「阪急池田」駅から徒歩約10分

【地図】



問合先：生物化学的測定研究会事務局（担当：照沼、渡邊）

〒162-0842 東京都新宿区市谷砂土原町2-7-1

京都電子工業株式会社 東京支店内

TEL：03-5227-3151 FAX：03-3268-5592

E-mail：[kem.bas.j@kyoto-kem.com](mailto:kem.bas.j@kyoto-kem.com)

HP：<http://www.bas.j.info>

## 参加申込

(1) FAX での申し込み

下記必要事項を記入して事務局へFAX 送付 (03-3268-5592)

(2) E-mail での申し込み

下記必要事項を記入して事務局へE-mail 送付 ([kem.basj@kyoto-kem.com](mailto:kem.basj@kyoto-kem.com))

(3) 申込時の必要事項 (記載例)

生物化学的測定研究会第21回学術シンポジウムの参加を申し込みます。

会員種別 : 会員 (個人・法人)、非会員

情報交換会参加 : 参加、不参加

氏名 :

勤務先 :

郵便番号 :

住所 :

TEL :

FAX :

E-mail :

\*参加費は当日受付でお支払い下さい